

『市民会議』の審議状況は如何に？



専門家にも尋ねてみました

3回目となる市民会議が3月7日19時、中央公民館4Fで開かれた。「太宰府市自治基本条例」策定に向けての公募市民有志による検討会である。前号に続いてその報告をしよう。

併せて、当会は専門家にこの件で質問したので、その回答も掲載することにする。

一口に言って審議の内容はあまり進展していない。

だからメンバーの中には苛立つた声もあって「そんな事よりも早く話の内容をつめよう」という発言がある一方、「いや、この会議の立場、参加メンバーの立場を初めにキチンとすべきである」との意見とが、平行線をたどっている感じである。

ただ、一傍聴者として聞いていると、いろいろな疑問がわいてくる。そうした事を積み残したまま先へ進もうとするのは、何の為に

のか。

疑問の第一は、やはり構成員の中に市職員（しかも管理職）が多数入っていること。行政マンの意見が必要な時は、参考人その他の形ででも可能だし、逆に行政者が審議の内容を知りたければ、傍聴者として参加すればすむことだ。

「職員は会議を誘導するつもりはない」「発言はひかえるようにしている」などという言い訳は、会議に参加している以上、非常におかしな理屈である。そうであれば尚さら、傍聴席に居てもいいこ

とだ。

参加者の中には、市民の疑問に答えようとするのではなく、何とかして行政側の「立場」に立とう、という雰囲気の声さえある。

コトは全市民のいわば「憲法」にもなるかという「自治基本条例」へ向けての論議である。なぜ性急に進める必要があるのか。こ

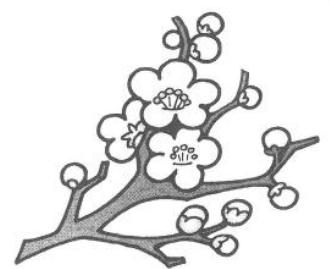
市民の側のレベルの問題？

疑問はほかにもある。

市民への参加呼びかけに何の条件も付さなかったようだが、それは往々、行政のつごうのいい人物を入れこむ方法に利用される。たとえば選挙にはずされる市民が居ても、理由のただしようもない。

せめて「補助金・給与等で行政と直接的利害関係を有しない市民」という条件くらいは、つけるべきではないか。せめてものケジメとして。

過去に何度も審議会が設けられ



自分史・印刷物全般

一般印刷・オンデマンド印刷・フォーム印刷・封筒印刷
各種印刷物
(ポスター・カタログ・マニュアル・チラシ・パッケージ・名刺等)

有限会社 **北九州カーボン印刷**

■福岡営業所
〒812-0017
福岡市博多区美野島3丁目18番17号
TOWATAビル101号
tel 092-473-2577
fax 092-473-2587

■本社・工場
〒803-0835
北九州市小倉北区井堀3-6-9
tel 093-561-0707
fax 093-582-5178
e-mail kcp@jcom.home.ne.jp

こはじつくりと時間をかけて、市民が抱くであろう疑問に関して、キチンと説明ができるように煮つめるべきではないのか。

そもそも、この条例の策定を急がねばならない理由は、何もないはずである。

努力もたらないのではないのか。重ねて言うが、市民の抱く疑問には充分に答えられるよう、慎重な論議を尽くしてほしい。

その過程で市民の理解は深まるし、納得の上で成立した案ならば、市民はそれを自らのものとして活用するはずだ。

なお、当会は公正を期すため、この条例に関する事となら「この人あり」という学者にも意見を求めたので、その回答も紹介しておく。

「基本条例はもとと市民側が要求して始まり、行政との話し合いでの成立をめざしている。だから行政がどんな人員を参加させようとも、違法性はない。問題は従って市民側のレベル、関心の度合いである。つまらない構成員なら、その程度の策が生まれるということだ」

なかなかクールな答えではないか。さて、この記事をお読みになるあなた。あなたは……？

真の「まちづくり」は普通の市民が
考え・発言し・行動することから

市民グループ
住みよい太宰府を作ろう かい

略称 <作ろうかい>

作ろう！

92号 (12・4・10)

<問い合わせ・連絡先>

〒818-0101

太宰府市観世音寺4-17-22

観世 広

電話とFAX 092・922・6801

急ぎの場合は 090・9602・9508

Eメール Kanze.hiroshi@ezweb.ne.jp

今月は、14,500部発行

意見

電波塔問題や

市政だよりに関して

3月の市議会で、渡辺議員が電波塔問題(門田議員提出)についての市長の対応に関して、議題にあげて質疑していました。

たまたま当会にも、それに関した意見が寄せられていたので、そちらを紹介することにします。

――

『作ろう!』の2月号に門田議員と井上市長の意見が載せられていたけど、あれはおかしい。携帯電話の基地局の設置に関して、私は賛成でも反対でもないし、門田議員の提出案にもそのことは触れられていないのに、市長は「基地局は市民に必要です」と書いています。これはわざと論点をずらしていると思えない。しかも市の公報には、市長の意見だけが一方的に載せられている。『作ろう!』でさえも両論ある時には双方に紙面を割こうとなさっているのに。

そういえば『市政だより』は市長の写真をやたら載せますね。月

に1回の発行なのに、月号ほとんど5〜6枚はある。私は他の市に住んでいただけ、こんな市報は見

たことがない。県政だよりさえ、知事の写真が何枚載りますか。

今のままでは「市民のための公報」ではなくて、市長のための「私報」ですよ。

去年、選挙のある前後はもっとひどかった。

恥ずかしいことです。

(坂本万紀夫 市内在住)

今月も『平家物語を読む』

5月は「四王寺山・土塁と札所めぐり」

NHKの大河ドラマに便乗した

わけではないのですが、2年前に引き続き『平家物語を読む』講座を開いたところ、なかなか好評でした。

『平家』はあの『源氏物語』と並ぶほどの名作で、しかも原文は『源氏』よりもだいたく読みやすい。

その一方で、これは「文学」であって、歴史的事実とはかなり異なった面がある。その点にも触れながらの解説つきで、参加者全員が声を出して読んだりもしました。

なお、琵琶の実演はちよつとわずかしそうなので、CDで楽しみました。

4月もこれが続けますが、むろん初参加でも楽しめるはずですよ。

『平家物語を読む』

・4月13・20・27の各金曜14時半から。

・観世音寺公民館で。

・講師は観世広二当会代表。

・毎回、一般500円・会員300円。

※テキストはこちらで用意しますが、プリントのつこうがあるの

で、事前にお申し込み下さい。

『四王寺山・土塁と札所めぐり』

春秋の恒例となっている「四王寺山・土塁めぐり」は毎回少しずつコースを変えて実施しています。が、今回は特に、山中に散らばって存在している『札所33カ所』を、全部まわってみようと思います。

ただし1回では少々無理があるので、2回に分けて実施します。

生ゴミ処理機を利用して循環社会創りを目指しています

ユキ 油機エンジニアリング(株)

福岡県太宰府市大字北谷1096-8
TEL092-920-5501 FAX092-920-5502
E-mail: yukieng@fsinet.or.jp

庭の手入れからビル建築まで

——家に関することなら何でも——



1級建築士の兄弟が営む会社
有限会社 平生建設

太宰府市五条2の11の1 第1車庫ビル
☎092-925-3939/080-1715-7466(平川)

開放講座のご案内

市内・五条にある福岡国際大学

西鉄五条駅から徒歩7分のところにある福岡国際大学では、一般市民が学生と一緒に学ぶ開放講座が開かれていて、これは当会代表が全面的に協力しているのですが、

本年も4〜7月の各金曜10時40分から90分間、全12回実施されます。

『太宰府の歴史と文化』

その第一回は観世広二「太宰府周辺の地形と地震の話」

・案内は観世広二当会代表。
・参加費 一律300円。
・弁当・水筒は各自持参。
※健康等は自己責任でご参加下さい。

※当日悪天の場合は朝7時に決定します。
※問合せは090・9602・9508 観世まで。

募集は100名程度ですが、毎年好評ですので、早めにお申し込み下さい。

受講料は原則無料で、場合によっては資料代を若干いただくことがあるかもしれない、とのこと。初回は4月20日、最終回は7月13日になります。

申込み先 電話092・922・9709・FAX092・923・1754。